

令和6年度

第3回大津市がん対策推進委員会



資料1－1

第2期大津市がん対策推進基本計画案について

令和7年2月14日(金)

目 次

1	パブリックコメントの結果	P3
2	御意見を踏まえて反映した内容	P4
3	その他、素案からの主な変更箇所	P6

1 パブリックコメントの結果

パブリックコメントの結果(概要)

■ 意見募集期間	令和6年12月24日(火)から令和7年1月14日(火)まで	
■ 意見者の数		2名
■ 意見の総数		10件
■ 取扱い内訳		
	・御意見を踏まえて反映したもの	5件
	・御意見に対して補足説明するもの	3件
	・今後の取組の参考とさせていただくもの	2件

※結果の詳細は資料1－2をご参照ください。

2 御意見を踏まえて反映した内容①

該当 ページ	御意見(要約)	大津市の考え方
P2	【計画策定の背景と趣旨】 がんが死因の第1位となっているのは、事実を記しているのであり、「課題」ではないと思います。 よって、表現を再考されるのが良いと思います。	御意見を踏まえ、下記のとおり表現を修正いたします。 「本市においても、現在、がんは死因の第1位であることから、がんの予防、がんとの共生などの総合的ながん対策はますます重要となってきます。」
P5	【SDGsとの関係】 がん対策は、本人の健康意識の向上だけではなく、医療体制の構築や行政によるサポート、これらの連携も非常に重要であることから、SDGsの目標「17.パートナーシップで目標を達成しよう」を追記してはいかがでしょうか。	御意見を踏まえ、目標17「パートナーシップで目標を達成しよう 行政機関と民間企業・医療機関等の団体が連携し、がん対策に関する取組を推進します」を追記いたします。

2 御意見を踏まえて反映した内容②

該当 ページ	御意見(要約)	大津市の考え方
P86	【受動喫煙の防止】 「世界禁煙デー、禁煙週間に関する啓発」、「禁煙ポスターの作成・配布(屋内禁煙実施の飲食店、事業所向け)」の施策も重要であることから、追加して下さい。	御意見を踏まえ、施策No.7を下記のとおり修正いたします。 「No.7 イエローグリーンリボン運動、世界禁煙デー及び禁煙週間の普及啓発」 禁煙ポスターの作成・配布については、禁煙や受動喫煙の防止の推進に関連する御意見として承り、今後の取組の参考とさせていただきます。
P90、 P133	【成人の喫煙率の減少】 「成人」を「20歳以上」に変更されたい。18歳以上と紛らわしい。	御指摘を踏まえ、「成人」を「20歳以上」に修正いたします。
P93	【喫煙マナー】 「喫煙マナーを守ります。」について、「マナー」ではなく、「の際の配慮義務」に言い換えて下さい。健康増進法27条に規定されている用語を用いて下さい。	御指摘を踏まえ、「喫煙をする際の配慮義務を守ります。」に修正いたします。

3 その他、素案からの変更箇所

該当ページ	意見(要約)	変更の内容																						
P101、P138	【がん教育の充実】 がん教育を受けた児童生徒の理解度に関する目標及び評価指標を設定すべきである。	御意見を踏まえ、児童生徒と、20～30歳代を対象とした目標及び評価指標に見直します。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>変更前</th><th>変更後</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">目指す成果 (初期アウトカム)</td><td>がん教育を通じて、がんに関する知識の理解が深まっている</td><td>がん教育を通じて、児童生徒のがんに関する知識の理解が深まっている</td></tr> <tr> <td>20歳代の人、生活習慣からのがん予防に取り組んでいる</td><td>20～30歳代の人に、がんに関する知識が普及している</td></tr> <tr> <td rowspan="5">評価指標</td><td rowspan="3">(新たに設定)</td><td>「がんについて学ぶことは、健康な生活を送るために重要だ」と思う児童生徒の割合</td></tr> <tr> <td>「がん検診を受けられる年齢になったら、検診を受けようと思う」児童生徒の割合</td></tr> <tr> <td>「がんになっている人も過ごしやすい世の中にしたい」と思う児童生徒の割合</td></tr> <tr> <td>20歳～39歳の回答において「がんは早期発見により治療が可能である」ことを認識している人の割合</td><td>20歳～39歳の回答において「がんは早期発見により治療が可能である」ことを認識している人の割合</td></tr> <tr> <td>20歳～39歳の回答において「乳がんや子宮頸がんのように若い世代で増えているがんもある」ことを認識している人の割合</td><td>20歳～39歳の回答において「乳がんや子宮頸がんのように若い世代で増えているがんもある」ことを認識している人の割合</td></tr> <tr> <td></td><td>20歳代の食塩の摂取量の減少</td><td rowspan="2">(削除)</td></tr> <tr> <td></td><td>20歳代の喫煙率の減少</td></tr> </tbody> </table>		変更前	変更後	目指す成果 (初期アウトカム)	がん教育を通じて、がんに関する知識の理解が深まっている	がん教育を通じて、 児童生徒の がんに関する知識の理解が深まっている	20歳代の人、生活習慣からのがん予防に取り組んでいる	20～30歳代の人に、がんに関する知識が普及している	評価指標	(新たに設定)	「がんについて学ぶことは、健康な生活を送るために重要だ」と思う児童生徒の割合	「がん検診を受けられる年齢になったら、検診を受けようと思う」児童生徒の割合	「がんになっている人も過ごしやすい世の中にしたい」と思う児童生徒の割合	20歳～39歳の回答において「がんは早期発見により治療が可能である」ことを認識している人の割合	20歳～39歳の回答において「がんは早期発見により治療が可能である」ことを認識している人の割合	20歳～39歳の回答において「乳がんや子宮頸がんのように若い世代で増えているがんもある」ことを認識している人の割合	20歳～39歳の回答において「乳がんや子宮頸がんのように若い世代で増えているがんもある」ことを認識している人の割合		20歳代の食塩の摂取量の減少	(削除)		20歳代の喫煙率の減少
	変更前	変更後																						
目指す成果 (初期アウトカム)	がん教育を通じて、がんに関する知識の理解が深まっている	がん教育を通じて、 児童生徒の がんに関する知識の理解が深まっている																						
	20歳代の人、生活習慣からのがん予防に取り組んでいる	20～30歳代の人に、がんに関する知識が普及している																						
評価指標	(新たに設定)	「がんについて学ぶことは、健康な生活を送るために重要だ」と思う児童生徒の割合																						
		「がん検診を受けられる年齢になったら、検診を受けようと思う」児童生徒の割合																						
		「がんになっている人も過ごしやすい世の中にしたい」と思う児童生徒の割合																						
	20歳～39歳の回答において「がんは早期発見により治療が可能である」ことを認識している人の割合	20歳～39歳の回答において「がんは早期発見により治療が可能である」ことを認識している人の割合																						
	20歳～39歳の回答において「乳がんや子宮頸がんのように若い世代で増えているがんもある」ことを認識している人の割合	20歳～39歳の回答において「乳がんや子宮頸がんのように若い世代で増えているがんもある」ことを認識している人の割合																						
	20歳代の食塩の摂取量の減少	(削除)																						
	20歳代の喫煙率の減少																							
P121～	【用語解説】 以下の用語を追加すべきである。 ・一般診療所 ・一般病院 ・イントラネット	御意見のとおり追加しました。																						